

平成 24 年度 新潟市新津鉄道資料館活性化検討委員会 会議録

- 日時：平成 24 年 7 月 2 日(月)
- 会場：秋葉区役所 601 会議室
- 参加者：新潟鉄道資料館活性化検討委員会 金山委員，里見委員，南雲委員
新潟鉄道資料館活性化検討委員会事務局 羽生秋葉区長，倉地歴史文化課長，
栢野歴史文化課課長補佐，歴史文化課 水澤，文化政策課 狩谷（以上 8 名）
- 傍聴人：3 名
- 資料配布：平成 24 年度新潟市新津鉄道資料館魅力創造事業説明
新潟鉄道資料館の今後の運営方針(案)
別紙：国内の主な鉄道展示施設リスト
- 意見聴取 1) 座長選任
2) 報告事項：新潟市新津鉄道資料館魅力創造事業について
3) 協議：平成 24 年度新潟鉄道資料館活性化基本計画について
(事務局から案件の概要説明し，その後意見聴取を行った)

栢野補佐	それでは，ただ今より新潟鉄道資料館活性化検討委員会を開会いたします。本日の司会を努めさせていただきます，歴史文化課課長補佐の栢野です。本日は，よろしくお願ひ致します。開会に先立ちまして本日，取材の各社から写真撮影の申込みがございました。これを認め撮影の許可をしても宜しいでしょうか。
委員一同	はい。
栢野補佐	報道各社さん写真撮影は可能ですのでよろしくお願ひいたします。
倉地課長	それでは，開会にあたりまして歴史文化課課長倉地よりご挨拶を申し上げます。 歴史文化課課長の倉地でございます。本日は大変お忙しいなか検討委員会にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。今日ご検討いただきます新潟鉄道資料館は，昭和 58 年に開館し，平成 10 年 4 月に現在の旧国鉄新潟鉄道学園に移設リニューアルしております。これまで秋葉区地域課が所管をしてきたがこの 4 月から歴史文化課へ移管となっております。新潟市の歴史的産業資料館として再度リニューアルしていこうという予定であります。産業を支えた鉄道の歴史や市民の文化を様々な視点で捉えた魅力あふれる施設にしていきたいと思っております。その為に委員の皆様から鉄道資料館の活性化に向けて活発なご意見を出していただきまして今後の事業を進める上で参考にさせていただきたいと思っております。本日は，限られた時間での委員会ではありますが何卒よろしくお願ひ申し上げます。
栢野補佐	それでは，本日の委員会の日程ですがお手元に配布の資料の通り進めさせていただきます。午後 4 時をめぐりに終了させていただきたいと思ひます。本日出席の委員は，全 4 人のうち 3 名となっております。佐藤美知男委員におかれましては，本日所用の為欠席となっております。 まず始めに皆様より自己紹介をお願ひしたいと思ひます。 金山委員から順次お願ひいたします。

金山委員	<p>法政大学の金山と申します。私は、以前公立博物館にも勤務した経験がございます。18年ほど学芸職とそれから副館長として勤務をいたしておりました。現在は大学で博物館学を担当しています。</p> <p>私個人として千葉県の野田市が地元ですがそこでNPO法人を立ち上げて指定管理者制度を用いて野田市の公立博物館を運営し、そちらの事務局長をやりながら且つその博物館のマネジメントにも携わってやっております。ひとつよろしく願いいたします。</p>
里見委員	<p>里見と申します。私は、幾つかの大学で博物館展示論を教えております。展示実務については北海道から九州・沖縄まで様々な博物館に携わってきました。自然系、人文系、美術館、理工系、そういった経験を活かしながら博物館の展示のあり方について指導をしている立場におります。どうぞよろしく願いいたします。</p>
南雲委員	<p>南雲友美です。にいがた観光カリスマってなんだろうって思っている方が多いと思います。湯沢町で観光のお仕事をしていて主に観光バスの乗務もしますが観光カリスマというタイトルが地域のガイドをすると言いますか地域に根付いた地域のガイドをすることが認定のきっかけになったということで今もバスの乗務をしつつ子供たちや地域で新潟県内および県外でもボランティアガイドさん達の養成や人材育成などやっております。プライベートでは、11歳の一児の母でございますので子供達にも楽しめる、楽しんでもらえるような資料館にしていきたいと考えております。よろしく願いいたします。</p>
事務局：水澤	<p>新津の鉄道資料館を担当しています水澤です。今回の検討委員会の事務局を担当させていただきます。秋葉区で5年間お世話になった経験もあり地元の組織との意思の疎通や意見の交換をやりやすいという立場で務めて行きたいと思っております。よろしく願いします。</p>
倉地課長	<p>先ほどご挨拶をさせていただきました課長の倉地でございます。新津鉄道資料館については新潟市と新津市が合併した当初平成17年度と18年度の2年間歴史文化課が所管しておりました。その頃から管理・運営等は続いていた所ですが地域の資料館はやはり地元といえますか地域に近い所からみていただいた方が良いでしょうという事で政令市移行に伴いまして区役所の所管に移したと聞いております。この度活性化で見直しをするということになりまして地域の資料館から全市的に新潟市が市内外に誇れる資料館にしていきたいということで4月1日から歴史文化課に所管になります。</p> <p>是非皆様から有意義なご意見をいただける様よろしく願い致します。</p>
拝野補佐	<p>歴史文化課課長補佐の拝野でございます。私は、合併前の旧新津市の職員でありましてこちらの庁舎にも9年程勤めました。それから13年間については新津美術館に、やはり公立の様々なお客様が来ていただく施設に勤めておりましたので、今回の鉄道資料館の活性化基本計画についてはそれによって多くの方に来ていただくということにつきましては新津美術館時代もやはり多くの人に親しまれ愛される施設を目的にやって来ており、その様な観点からも皆様の意見を楽しみにしている所でございます。どうぞよろしく願いいたします。</p>
事務局：狩谷	<p>文化政策課狩谷と申します。昨年は文化施設のあり方検討会で西蒲区と秋葉区の文化施設の検討ということで担当させて頂きました。今年度につきましては個別の資料館の検討とい</p>

	<p>うこととなりますが、より良い魅力ある資料館として参りたいと思って担当させていただき ます。引続きよろしくお願いいいたします。</p>
<p>拝野補佐</p>	<p>それでは、この委員会の座長を決めさせていただきたいと思ひます。事務局から推薦させ ていただきたいと思ひます。いかがでしょうか？</p>
<p>委員一同</p>	<p>異議なし</p>
<p>拝野補佐</p>	<p>それでは、座長につきまして金山先生にお願ひしたいと思ひます。よろしくお願ひいたし ます。</p>
<p>金山座長</p>	<p>改めまして、座長を務めさせていただきます、金山です。どうぞよろしくお願ひします。</p>
	<p>会議に先立って何故私が座長に指名されたかの背景についてご説明したほうがいいかと思 ひます。新潟市が合併した後、合併をした旧市町村の文化施設の見直しをするという作業を 昨年実施いたしました。具体的には秋葉区とそれからもう一つは西蒲区でした。</p>
	<p>秋葉区で施設を見直したのが4施設でしたが、その中でこの鉄道資料館についても見直しを しました。見直しの仕方は市民の皆さん方に出席していただいてワークショップを4回行 い、各施設の現状の在り方についての問題点、それから今後どういう取り組みをして改善し ていったらいいかという事について検討しました。その成果については文化政策課でまとめ ましてホームページでも掲載し、市長に報告したという経過がございます。私は、その会の 文化施設の見直しの在り方についてのアドバイザーをしました。その様な経緯から事情が一 番わかっているのが金山だろうということで今回この鉄道資料館についても見直しをする 中で委員になり座長をとという話しのご判断だったと思ひます。以上簡単にその辺の事情説明 になります。</p>
	<p>それでは、今日の次第についてですがお手元の資料にあります様に6ページございます。</p>
	<p>1から4までの座長の選任の所までは一応終了したので、これから本題ですが、先ず報告 事項として新潟市新津鉄道資料館魅力創造事業について事務局からご説明をお願ひいたし ます。</p>
<p>事務局：水澤</p>	<p>それでは、私から説明をさせていただきます。資料としましては3ページ目から8ページ 目の説明になりますのでごらんください。</p>
	<p>魅力創造事業の説明を申し上げる前に何故新津が鉄道の町であったか、あるいはどうして 新津鉄道資料館が建設されたのか、4ページ・5ページを使って少し経過を説明させていた だきたいと思ひます。最初に新津が鉄道の町という事の経緯であります。明治30年に私 鉄の北越鉄道株式会社の間駅として新津駅は開業してございます。その後の明治45年に 現在の信越線と最初は岩越線といわれておりました磐越西線と羽越線が交差する鉄道の要 衝地となりました。昭和16年には新潟鉄道局の車両工場、現在の新津車両製作所等の工場 あるいはその現業職場が次々と新津に建てられまして、最終的には15箇所の現業職場が設 置されました。新津地区の労働者の4人に1人が鉄道関係者であったといわれていた時代も ございます。昭和30年頃には当時の新津駅には1日400本の列車が発着し、機関区には 蒸気機関車が60両も常駐して客車も400両が待機するなどして東日本最大の鉄道要衝</p>

地になりました。その後は昭和40年代に入りますと電化、あるいはその鉄道を支えてきた石油が枯渇したということもあって、鉄道の要衝地から少しづつ退いていったという経緯がございます。

続いて、鉄道資料館の経緯ですけれども5ページをご覧ください。

鉄道資料館は昭和57年時点で上越新幹線が開業するのを受けて、昭和58年2月に開設してございます。当時の地元の国鉄OBが中心となりまして、是非鉄道の要衝地の新津に鉄道資料館を作ろうという事で当時の国鉄に働きかけて車両製作所の一部の敷地を間借りする形で資料館が開設しました。そして、平成10年4月1日に現在の新津の鉄道学園がありました施設の中でリニューアルオープンしております。現在は2代目の資料館となります。鉄道資料館の概要につきましては、記載している通りでございます。その鉄道資料館を新潟市の新しい魅力づくりに活かしていこうという事で、この4月1日に所管を秋葉区地域課から歴史文化課に所管替えを行いました。今後はあらたに事業を実施し活性化させていこうという事で今年度、事業に取り組むわけであります。

魅力創造事業の中身についてですけれども3ページ目に概要が記載してございます。

昭和58年に開館して平成10年に移転した鉄道資料館は現在でも旧国鉄時代の資料が中心であり、たしかに資料としては貴重な品物が多くある半面、現在全国で開設・運営されています鉄道関連の資料館や博物館と比較しますと、どうしても展示品の目新しさとか新しい展示の仕方、さらには幅広い年代層の集客にどうしても欠けている点があります。しかし、鉄道というのは小さな子供達から大人までが楽しめる乗り物でありまして我々の生活に密着した身近な産業文化であると捉えております。もっと沢山の人が身近に感じる展示内容と、楽しみながら産業文化を学べる手法を取り入れるなどして、一層の工夫と資料館としてのポテンシャルを上げていく必要があると考えている次第であります。

その為にも既存施設をきちんと活かしつつ、鉄道資料館としての魅力を更に上げて今回のこの魅力創造事業に取り組む事で資料館の新たな魅力作りに繋げて行きたいと考えております。現状と課題は6ページ・7ページに現在の新津鉄道資料館の現状と課題が掲載してございます。これは、先程も座長よりお話がありました平成23年に文化政策課で文化施設の在り方検討会、あるいは新潟市職員の検討会を10・11・12月の3回開催し、さらには今年に入りまして6月21日の新津鉄道資料館意見交換会を産業団体や鉄道関連の団体の方がたをお招きして意見を頂戴してございます。その内容を集約したものになります。6ページをご覧くださいますと鉄道資料館の洗い出しで良い点・悪い点を記載してございます。展示資料につきまして良い点の代表的なものは、実際に使用された品物が数多く有り、展示数は非常に充実されているのではないかと考えております。反面コレクションは充実しているが資料のデータベースが不十分だったり、キャプションが不足で動きの無い展示で誰でも楽しめる展示の仕方になっていないのではないかとする意見も出ておりました。

施設につきまして、現在のところ駐車場が新津地区の公民館と隣接している関係もあり、駐車場が多く、無料で停められるという利点があります。反面、施設は国鉄から旧新津市が

買い上げた建物で設備面では非常に不十分な点が数多くあります。たとえば、エアコンが少なく、展示資料の紫外線対策も不十分だという意見も出ておりました。さらには、駅から遠いということでの意見も多数頂いております。

その他ですけれども良い点として入館料が安く大人200円、子供100円を入れる、管理人については旧国鉄時代に鉄道に関わった方々から管理人になっていただいているという関係で非常に詳しい解説が聞けるという意見がありました。反面、JR東日本、あるいは鉄道関係組織との連携が非常に弱くて資料が旧国鉄時代に偏っているという指摘もございます。

また資料の説明文が少なく地元の学校・あるいは社会教育に有効であるとは言い切れません。さらには動きのある品物が少ない事で子どもなどのリピーターにはなかなか結び付いていないとの意見もございました。更に言えば地元との密着度が薄い資料館ではないかと指摘を受けております。この辺が改善の余地があるのかと思っております。

現状の評価の2点目の入場者数は、お手元の資料の10ページ・11ページに年間の新津鉄道資料館の来館者数・資料2につきましては県外の来館者数を表にして記載してございます。現在の所に移った平成11年から年間のカウントが出来たものですから平成11年度から見ていきますと、最初は6千人台からですが平成13から14年にかけて7千～8千人台に移っておりますが、以来十数年経っておりますけどご覧いただいた通りに9千人を超えたことが無いというのが現状です。しかも、この入場者数については有料及び無料の来館者数も入っておりますので、無料の方を入れても9千人をなかなか超えないというのが現状です。別表になりますが年度別の県外来館者数になります。資料館の来館者の25%ほどについては県外の方でございます。地元の方・県内の方も多く来館していただいておりますが県外からの来館者数が多いというのも特徴になっております。しかも記載したとおりに様々な災害が新潟も含めて有りましたが、意外とその影響を受けていないことが表からでも分かっているかと思っております。8千人台で安定している資料館施設と捉えています。

3番にこれ等を受けまして資料館の現状と評価はどういうものがあるかということで記載してございます。現状の評価1点目、展示についての鉄道資料は新津駅や新津駅管内の鉄道職場で実際に使用されていた地元ゆかりの実物が豊富で貴重な品物が多いのが特徴であると思っております。2点目は新潟交通・蒲原鉄道等の実際に廃線になった私鉄の鉄道資料も展示されているという点で、こちらも貴重であろうかと思っております。3点目は鉄道学園時代の訓練用の運転台も活用しており、これらは専門的な資料で他では見る事が出来ない貴重な資料となっております。4点目の展示環境ですが空調関係は不十分で、紫外線対策も不十分でありまして、さらには屋外についても屋根等が少なく展示物の劣化が非常に顕著であります。これらは改善の余地がある気がしております。5点目ですが資料に対するキャプションが不足で説明の出来る管理人も現在、常駐は1人です。1人しかいない為に来館者に対して十分な説明が出来ていないというのが状況です。また、展示替えが殆んどありません。通年同じ品物が同じ展示方法で展示されております。

さらには、体験や動きのある展示が少ないという事で子供や家族連れ、いわゆる幅広い年代層への集客力が弱いということです。施設、展示の最後になります。ランドマークになりうる実車が無いというのも資料館の印象度が薄い原因になっています。

大きな2番の施設に関してですが、1点目は駅からの交通アクセスが不十分でその上に道路看板での施設誘導が分かりづらいのではないかと指摘を受けております。2点目は、空調設備が不十分で来館者にサービス面で不自由を掛けております。3点目ですが、共有等の休憩スペースが無くゆっくり過ごせる施設環境ではありません。4点目ですが展示スペースが限界でありまして、企画展や独自イベント等をおこなう会場が確保されておられません。結果的に独自事業が無いという現状です。施設の最後になりますが無料駐車場は確かに確保されていますが、実は新津の地区公民館あるいは弓道場などと駐車場を共有している為に常に来館者用にこの台数が確保出来る状況ではありません。

大きな3番のその他ですけれども新津地区には鉄道OBの人材は豊富でして、鉄道資料館の管理人としても現在活用されております。ただ鉄道資料館を下支えするような組織が地元になんと言ったのが実態です。その他の2点目ですが、地域では鉄道が地域の誇り・宝物だと言われますが、学校や地元市民との密着度が薄いのではないかと現状です。先日の新聞にも紹介されておりましたが隣接する小学校の子供たち2割が資料館の存在そのもの知らない、4割の子供たちは入ったことがないということで、なかなか隣の学校であっても資料館が活用されていないのが今の状態かと考えております。その他の3点目ですがPRが不十分な為に施設の認知度が市内外に対して低いというのが現状です。但しその割には、県外からの来場者数が比較的安定しているということでは積極的にPRをこなして行けば資料館として全国区になれる気がしております。現状と評価は以上であります。

3ページ目に戻って頂きますと現状と課題は申し上げた通りですが、どういう影響が出ているかと言いますと東日本最大の鉄道の要衝地の資料館としてやはり不十分であるのではないかと考えております。また各組織との連携不足で資料収集が困難といえますかほぼ出来ていない状態です。さらには独自企画が無い為にリピーターが少なく、魅力不足による来館者の伸び悩みです。この課題と現状を改善する為に平成24年度に新津鉄道資料館魅力創造事業を実施したいと考えております。

取り組みの方向ですが、鉄道資料館の活性化基本計画を策定いたします。そのために活性化検討委員会を開催させていただきまして皆様方から適切な助言・ご指導を頂いてまいります。さらには鉄道資料館の資料を再整理する事としております。そしてJR時代の資料が手薄になっておりますので、鉄道関連機関との連携を強めて資料提供の協力関係の構築を図っていきたくと考えています。また地元の方々にも寄贈の依頼を働きかけて資料収集を図っていきたくと考えております。

これらの魅力創造事業ですが、平成25年度・26年度までの継続事業として取り組んでいきたくと考えております。魅力創造事業の説明は以上です。

はい、どうもありがとうございました。詳細に説明していただいております。

金山座長

事務局:水澤 金山座長	<p>た。新津の街というのは鉄道の要衝地である訳ですね。</p> <p>はい。</p> <p>現在もそうですが、かつては鉄道によって栄えた町で鉄道の新津工場というものがある。しかし地元にとっては非常に大きな産業資源である訳ですが、あってもなかなか町が鉄道文化の発信地として全国にうまく発信していけないというジレンマを抱えているわけですね？</p>
事務局:水澤 金山座長	<p>はい。</p> <p>当初の鉄道資料館は昭和58年に国鉄OBの方を発起人にして設立されて、現在の資料館は平成10年に再オープンした二代目だということですね。ですが10年以上経ちますといろんな課題というものが出て来た。冒頭お話ししましたが昨年の文化施設の在り方検討会での市民の方達と共に現状の鉄道資料館の洗い出し作業をやったという事です。今年6月には市役所の職員、それから市民・地元の商工会の方たちで洗い出し作業をやられたんでしたね。</p>
事務局:水澤 金山座長	<p>そうです。</p> <p>改めて現状の洗い出し作業をやった物をまとめたものを6ページ・7ページにまとめていただいたという訳です。現状で良い点もあれば逆に問題点もあるということなんですが、一寸この辺のところの現状の評価について鉄道資料館について委員の皆様も事前に見学をしていただいている訳です。委員の方たちの現状の鉄道資料館についてどの様にご覧になっているか、ご意見をいただければと思います。</p>
里見委員	<p>里見さんの方からよろしく願いいたします。</p> <p>展示されているのは2,000点ほどと聞いていますが、かなり狭い中にワーと詰めている訳で非常に判り難い。だからもっと分かり易く平たく伝えるような、量的には多いという事で展示が単調だという事でしょうか。展示に盛り上がりという物がないのでそこはストーリーを作って展開し、幼児からお年寄りまで幅広い人を対象にするのであればマニアだけではなくていろんな方々に楽しみを与えるような工夫が必要でないかと思います。</p> <p>展示資料は宝が沢山有るようですので、宝の生かし方、工夫の仕方ですとイメージが変わるのではないかと思います。全体のテーマもまだ統一感が無いのでテーマも明確に資料から裏づけたテーマの設定、あるいは地域性といえますか、新潟・新津らしい物、地域性から見えてくるテーマがあるんじゃないでしょうか。テーマの設定の仕方もこれからきっちりやってそれぞれのテーマに目玉があれば楽しくなるだろうという思いをいたしました。</p> <p>イントロがあってクライマックスがあってエンディングがある様な展開が出来れば良いですね。それから折角、新津が鉄道の町だったという事ですので町全体から鉄道資料館のイメージが上がる様な工夫が出来れば、あるいは町全体といわなくても新津駅から資料館までのルートの中に鉄道に関する様々な変化に跳んだいろいろな物や工夫があると楽しいんだろうなど。飽きさせなくて資料館までのアクセスをしてくれるようなサインやロゴマーク等が歩道上のタイルの上に設置されていたりベンチがあったり、デザイン化されて歩きながらも楽しく、アッ、ここは資料館が有るから、来たいと思わせる工夫が町全体でなされると良</p>

<p>金山座長 南雲委員</p>	<p>いかと思いますよね。</p> <p>南雲委員，一児の主婦としていかがですか。</p> <p>そうですね，一言で言いますと，まず，暗い。なかでお仕事をされてる方が苦しんで仕事をしている印象があります。「私は一人なんだからとても大変だ。そこまでやれないよ。」なにか暗くて，どんよりした感じが伝わってきます。観光スポットとして見たら知らない所にまず人はこないですよね。看板が無いですね。独りではなかなか行き難い，たどり着いたとしてもそこが鉄道資料館だということがわからない。すごく冷たい雰囲気建物という印象です。ワクワク出来ない所には二度と行きたくないし，リピーター率を上げるには，やはりいつも新しい，いつもワクワクする，いつ行っても新しい発見が有って何時もワクワク出来る。展示品が全部出ているかは分からないけれど，見せないのもまた良いという感じがするんですね。心理をくすぐると言うかチラ見せするというんですか？一寸だけ見せる。全部出さない。ワクワク感が上がったり五感とか見る人の心理を衝いたところをもうちょっと刺激していきたいなと思いました。</p> <p>先ほど事務局から「良い点と悪い点」と報告がありました。でも，本当にこれが良い点なのか？本当にこれが悪い点なのか，私は一寸疑問です。良い点の管理人の方が詳しい説明・解説が出来る，これも詳し過ぎてしまうとお客様は素人だった場合の不一致感というものがあり残念です。</p>
<p>金山座長</p>	<p>各地域のボランティアガイドの会では良くあることなんですけど，ガイド自体が自己満足の喋り過ぎの問題があります。お客様にマッチしているかどうかでこれが良い点かどうか分かりません。後は，駅から遠いというのが悪いのかということとそんな気もしません。駅前にもこの資料館が在ったら商店街にもお客様も来ない訳だし，遠いからこそ出来る何かがあるのではないかと考えるとこれが本当に悪いのかということは一寸分からないと思いました。でも，何が悪いか良いか分からない状態で良いんじゃないかと思っているのが一番悪いです。悪い点が出て来てるので，良い点に改善できるのでとても良いと思いました。</p>
<p>事務局：水澤</p>	<p>はい。ありがとうございます。いま，おっしゃった事は確かですね。何が良いか何が悪いかを表でまとめていますけれど，人によって何が良いか何が悪いかの判断は違うかと思います。これはあくまでも先ほどから言っております検討会で整理したもので絶対的な評価ではないと思います。確かに南雲委員のおっしゃった通り資料館の所まで辿り着いても資料館が分からない，言われてみるとそうですね。現場に標識が今ありますか？</p>
<p>事務局：水澤 金山座長 南雲委員</p>	<p>建物には壁の所に鉄道資料館の文言は付いていますが，大きな看板やランドマークの様な目印というものはありません。資料館の建物も周りに，高校・中学校・小学校と幾つかありますが，建物そのものも見た瞬間，学校に映るのではないかという位の形をしておりますのでこれも分かりづらい一つになっているのかという気がします。</p> <p>元々あれは，鉄道の研修所でしたよね？</p> <p>新潟鉄道学園といわれる，研修所でした。</p> <p>だからやはり今おっしゃったように行ってもワクワクしない訳ですね。</p>

金山座長	<p>ワクワクしない所には、二度と行きたくないとおっしゃいましたが、一般の方達にとってはそういうとこなんでしょうね。今日ご欠席の佐藤委員も事前にご覧頂いていてそのコメントはご紹介いただけますか？</p>
事務局：水澤	<p>資料としては印刷して来ませんでしたが、佐藤委員からは事前にご覧頂いておまして資料館の印象として13点挙げられております。</p> <p>1点目は今ほど出ていた外観の魅力と期待感について収集資料の質と数量は豊富だが専門的なものから一般的、いわゆる当たり前な物までの部品や道具が有って魅力と価値はあるのではないかと、2点目は展示と保存の面で資料を活かせていない、もったいない。3点目は見せ方の工夫が必要ではないか。4点目さらには資料や解説板パネルなど全般に劣化が目立っている。資料は、保安上、保存上心配。5点目は展示構成は、一応大分類され整頓されているが系統順序だっていない為どの様に見ていってよいか迷う。6点目資料に解説が無いものがある。7点目は図書室これは、二階ですね。図書室には、基礎的な蔵書があって、新潟支社報は、非常に貴重な資料である。8点目は、資料は予想以上に整理されているが細目情報が不足、例えば使用年代、使用箇所、用途、使用方法などがいわゆる情報として一覧表等々に記載されていない。9点目は、屋外展示品は、雪の為劣化が目立つ。金属製も木製も同様。将来も心配。10点目、特別展会場のスペースが無い。11点目は、経費不足と専従者専門職員の印象。12点目ですが館付近に飲食の場所が無い。休憩を取りたい場合休めない。13点目は、資料館の他に近辺や周囲に魅力や関心がある物が無い。関心がある物が無いと一般客は来にくいしリピーターに繋がらない。特に女性と書いております。指摘については、13点以上です。</p>
金山座長	<p>今の佐藤委員のコメントは、里見委員と南雲委員の両方の現状についての評価を合わせた様な内容ですよ。コレクションは充実していて良いが、それをちゃんと活かし切って展示ストーリーとして一般の人にも分かり易い様に活用されていないということです。それから、やっぱり一般の人が見てもワクワクする様な魅力には乏しい状態だということです。</p> <p>資料館へのリピーターはマニア的な方達ですか。</p>
事務局：水澤	<p>マニアの方が多いですね。ですから、管理人さんの方の話は非常に面白いと言って帰られる方が多いです。県外の方については、細かく調べておりませんが管理人に話を聞く限り何度か足を運んでくださっている方が結構いらっしゃるということで、県外の客はリピーターの方が比較的多いかなという印象は受けております。</p>
金山座長	<p>そうすると鉄道マニアの方達の支持は高いものがあるけれども、肝心要のやはり地元の人達で小学生その子供が2割は知らなくて4割は行ったことがないというその辺に象徴的に地元の人たちの反応が現れているのかと思います。</p> <p>そうするとやはり地元の人達にいかに開かれたそういう鉄道資料館にして行くのかですね。それが大きな課題になると思います。</p> <p>里見委員はいかがですか？</p>

<p>里見委員</p>	<p>その通りだと思いますね。やはり地元小学生の方々が殆んど知らないという事は、これから事業をやる場合には学校との連携を充実させて子供たちに資料館に来てもらう為の工夫が必要であると思います。資料館から学校に出向いていくという出前展示は展示キットを用意して出て行く事です。子供たちが小さい頃から地元の宝としてここに新津のアイデンティティがることを小さい頃から伝えて行くことは非常に重要だと思います。その資料が8千点以上も有る訳ですので、展示室があり企画展示室があり、場合によっては狭くても良いからそういう資料を元にしたリソースセンターといいですか、資料の様々な物から新しい想像力が生まれるようなリソースセンター的な役割もあって、そこに先生方が集う事も出来て、先生方と一緒に共同で何か新しい教材を開発したりするという事業があっても良いかなと思っていますね。</p>
<p>金山座長</p>	<p>今、リソースセンターとおっしゃいましたが海外の地域博物館などはそういう展示室とは別にリソースセンターが有りまして、その部屋を用いて資料に子供達がハンズオンとして手で触れたり、それから職員が子供たちに資料を教材として授業を行うという活用をしています。その点日本は、まだまだ手薄ですが是非、そんな仕組みも鉄道資料館の今後のあり方として考えてみても良いのかもしれない。</p>
<p>南雲委員</p>	<p>南雲委員はいかがでしょう。</p> <p>沢山のお客様に来てもらいたいと私も思うのですが、8千人台でずっとキープしている鉄道マニアのお客様たちというのは私とても大事だと思いますよ。その人たちを活かさない手はないと思います。どういう仕組みが良いのか分からないけれども、そういう人たちの声も良く聞いて「俺達で作った資料館なんだ」的な感じのファンクラブが良いのか分からないですけれども、何かその人達を活かした様な資料館作りが出来たとしたら良いと思います。</p> <p>物凄いネットワークを彼らは持っているし今、ネットで鼠算式にぱっと行くと思うので将来的にも凄く大事にした方が良いと思います。今の8千人台のお客様というのも凄く大事にした方が良い、そういう方達をなんとか巻きこむような作戦を考えて行くのも良いかなと思います。かつて、4人に1人が鉄道職だった新津の町で小学生には知られていませんがその小学生のおじいちゃん世代は、「鉄道職だったんだよ」って、新津の町全体でかつこいいおじいちゃん作戦と言いますか、おじいちゃんがかっこ良くなる場所も作ってあげると家族の中でも会話がもしかしたら広がるかもしれないです。今、新潟県か全国か分からないですけど、ノーテレビデー・ノーゲームデーというのをやりなさいと学校から来ています。そうするとノーテレビだと家の中で喋る事が無いです。カッコイイおじいちゃんの鉄道の話聞く日でも良いしちょっと作戦が出来たら良いかと思います。</p> <p>あと私は、いま湯沢中学校の子供たちに観光ガイドのやり方を教えているのですが、湯沢中学校に通う子供達の家は殆んどサービス業です。旅館、民宿、ホテル、飲食店等で一部その農協だとか役場というところに勤めている家の子供もいるのですが、必ず友達の家が民宿なので民宿の家に遊びに行きます。観光地の中で育っている子供のDNAをもの凄く感じるんですね。ちょっと具体的に話すとか靴は私が教えなくても揃えます。エレベーター</p>

	<p>の扉は、言わなくても押えます。そういうのを、実際の親御さんが見て仰け反り返るほど驚きます。家では、靴は揃えたことなんてないのにおっしゃいます。</p> <p>でも、観光のお客様にはしっかりとその対応ができるDNAを湯沢の子供たちは持っているんですね。どういうのが有るか分かりませんが新津の小学生の子供たちにも鉄道はかっこいいとか、何かきつと何処かにDNAをきつと後方には持っているはずですよ。例えば私のやっているガイド活動も凄く良い活動になっていて6年生の時に一回と中学生になってからも一度地域の勉強をします。その自分たちの住んでいる町についての勉強を学校の中でします。インプットだけだとなかなか駄目でガイドの為のインプットをしたら今度ガイドをしなければならぬアウトプットとして喋ります。自分が習ったことを喋る、そうすると凄くいいですね。それだけではなくプラスアルファ観光のお客様が褒めて下さる。これは凄く子供が伸びるんですね。</p> <p>これは100%なんですけど全員の子供たちが毎年かならずガイドの勉強をする時よりも湯沢の町が好きになったと言います。嫌いになったと言う人はいません。100%です。</p> <p>そういう何かインプットだけでないアウトプットも出来てさらに大人が褒めてくれるような環境づくりがあると非常に子供たちは伸びます。将来的にも自分の町は、自慢の町って言う観光大使養成にもなるのかという気はしています。</p>
金山座長	<p>なるほど非常にいいお話をしていただきました。ありがとうございました。</p> <p>私は、地元でNPO活動をやっているの中で寺子屋講座をやっていますがそこで眼鏡屋さんに話しをしてもらったんです。</p> <p>今、眼鏡屋さんは、補聴器も扱うんですね。お客さんの耳が聞こえなくなる、老化すると皆さん聞こえなくなりますが大体70歳台くらいから段々と耳が聞こえなくなるそうです。</p> <p>すると家族と一緒に暮らしていてもおじいちゃん、おばあちゃんは聞こえなくなると家族の輪から段々遠ざけられてしまう。意外に孤食化してるんです。家族から離れて自分で自分たちだけで別に食事したりする。別にそれは話題が無いということではないんですね。話題は有ると思います。</p> <p>元国鉄マンの皆さんが4人に1人この町にはいらっしゃるという事で有るならば、是非、昔の仕事を孫に語ることがあってもよい。家族でその事を話題に出来る様に此処の施設が活用されても良いんじゃないでしょうか。まさにじいちゃんが復活する機会になりますね。これは文化事業から福祉事業にもなっていくですよ。</p>
南雲委員	<p>今凄く不安に思うことは40代とか50代のお父さんのストレスの解消の中で、宝くじがいま当たったらNO1は会社を辞めるのだそうです。そういうお父さんの姿を見て育つ子供が、大きくなりたくないと言う中で、当時の鉄道マン今のおじいちゃんの世代は物凄い愛社精神で勤めていた、そんな話を聞かせてあげて早く大人になりたいと言う教育が凄く大事だと思います。</p>
金山座長	<p>市民ワークショップをやった時に、国鉄マンの方達はやはり安全管理をやっていて事故があれば大変な話になりますし、凄く責任感が強い方達と思いました。それは、社会に対して</p>

<p>里見委員</p>	<p>の責任感を持つ意識があり、人間としてのあるべきその精神を教育できるのではないかと思います。</p> <p>資料のコレクションと合わせて記憶のコレクションを伝えて行く事が大事でしょうね。思い出や記憶が前面に出るような形ですとストーリーも展開出来ますし、物語も生まれてきますので展示も楽しくなる。それは非常に良いと思いますよ。</p>
<p>金山座長</p>	<p>まとめますとこれまでのマニアの方達の支持は大事で、そこをどう確保しながら地元の人達、新津ばかりでなく新潟市・新潟県も含めた形でここを鉄道文化の拠点として見直して行くという形にしていければ良いという事です。</p> <p>それでは時間の関係もございますので次に進みたいと思います。</p> <p>今受けた報告の現状と課題を踏まえた上で6番目の協議ですが、平成24年度鉄道資料館活性化基本計画についてよろしくお願い致します。</p>
<p>事務局：水澤</p>	<p>新津鉄道資料館の今後の運営方針を皆様からご意見を頂戴したいと思っています。資料は9ページになります。鉄道資料館の今後の運営方針(案)を提出させていただきました。</p> <p>かつて西の米原・東の新津と言われたほど新潟市に息づく鉄道文化を市民が誇りとするとともに楽しさと懐かしさが含まれた、あらたな魅力を創造し、全国に向けて発信力のある鉄道資料館を目指して行きたいと考えております。</p> <p>こちらを基本にしまして3点を運営のミッションとして考えております。</p> <p>1点目は、交流人口の拡大と地域の活性化を図っていきたいということです。新津鉄道資料館は、新潟市独自の鉄道文化施設として再生していき、その魅力を市内外に発信する事で人々が集い交流する中から地域の活性化も図っていきたいと考えております。</p> <p>2点目は新津鉄道資料館を鉄道文化の発信拠点として行きたいと考えております。鉄道の街の記憶を再発見すると共に最新技術を含めた新たな資料を収集し、分かり易い展示を行いながら鉄道文化の魅力を発信していきたいと考えております。</p> <p>3点目は人作りと地域の連携による事業を展開していきたいと考えております。鉄道文化を継承発展する人作りと地域・市民・企業の連携により魅力ある事業の展開を図っていきたいと考えております。</p> <p>3点のミッションを受けまして具体的な事業の方針ですが、1点目の交流人口拡大の1つ目は快適に過ごせる施設作りをやっていきたいと考えております。例えば、設備面、あるいはスペース面等々の改善であります。</p> <p>2つ目は、魅力有るアクセスの向上を図っていきたいと考えております。新津駅から資料館までの距離感を無くす様なアクセスの向上、たとえば途中の商店街がいろんな仕掛け作りを行う、またモニュメントを設置するところでの距離感を無くすような事業です。あるいは、誘導看板等の改善やあるいは二次交通の確保等々も考えております。資料館がここにあるということを伝えないとそこに無いと同じに思われてしまいますので、ここに鉄道資料館がある、或はこういう事業をやっていきますと広く様々な媒体を使って情報</p>

	<p>発信をしていきたいと考えております。</p> <p>そして、ミッション2点目の鉄道文化の発信拠点にしていく、の1つ目は鉄道の記憶をたどりたいと考えております。人々の鉄道の記憶をたどるという視点での事業展開をおこなっていきます。記憶としては廃線になっている新潟交通・蒲原鉄道も有りますので、その資料も貴重な資料として活用していきたいと思っております。</p>
金山座長	事務局，2点目の前段がちょっと少しおかしいと思います。
事務局：水澤	はい
金山座長	現状の鉄道資料館は要綱設置になっていますか？
倉地課長	条例設置になっております
金山座長	条例設置上，私は文言の詳しいことはわからないので，間違ったら訂正して下さいね。
	いわゆる資料館のビジョンにあたる理念にあたるものが「新津鉄道の知識として知ると共に，市民間の文化向上」となっていないませんでしたか？
倉地課長	「市民と地区と鉄道の関わりについての認識を深めると共に市民文化の向上を実施する」となっています。
金山座長	そういうことが条例上のミッションになっている訳ですね。
事務局：水澤	はい。
金山座長	ミッションは，文化施設で見直していく中で重要視されているんですよ。ミッションは独自のなもので存在意義があります。その博物館なり資料館が何故いわゆる公立館として，施設としてそれをどうして運営していかなければならないのか市民に対してきちんと宣言していくものがミッションです。そのための要件としては，資料館の独自性をちゃんとうたうという事と社会性ですね，社会的な意味があるものだとちゃんとうたうことです。
	市民にきちんと分かり易く語りかけることが大事な訳です。ミッションは，時代の変化に合わせて当然変えていかなければならないです。30年前に作った文化施設でずっと30年同じミッションを踏襲するというのはあり得ないです。
	新津の鉄道資料館というのは当初のものですか。いま課長がおっしゃったのは昭和58年に鉄道資料館を作った当初のミッションですか。
倉地課長	合併で条例を作り直してはおりますけれども設置目的は変えていないです。
金山座長	変えてないですね。
	何年前からになるんでしょうか？58年度からですから30年位ですか。
事務局：水澤	29年前です。
金山座長	29年間そのままだった。でそれを，やはり新しくここで資料館を見直すにあたってミッションも合わせて見直そうとその根拠は，先程挙げたように現状の問題点を踏まえて新しく再生していきましようということになるんですね。
	で，その案について今事務局方から出していただいたんですが大きく要点として3点ある訳ですね。1番目は交流人口の拡大と地域の活性化を図ります。2番目は，鉄道文化の発信拠点にします。3番目は人作りと地域の連携による事業を展開します。ということで，それ

里見委員	<p>ぞれの説明に付いてはカッコに書かれた通りということになります。皆さん、これについてご意見を言っていたきたいと思いますが。</p> <p>里見委員いいですか。</p> <p>この様な方向で良いのではないかと思います。まさに、交流人口の拡大ということですね。各地域間競争の中で沢山の人が集ってくれる、それに伴って地域が活性化をしていくという動きは非常に重要だと思いますのでそれが1つ上げられているのは良いですね。</p>
金山座長 南雲委員	<p>2番目の発信拠点についても過去において非常に重要な地域として新津の存在があった訳ですものね。それはまさに地域のアイデンティティでもありますので拠点にするというのは大事だと思いますし、さらに人作り、子供達あるいは地域の人々、ここには車両製作場も在りますので、そういったところとも連携というのは大変重要なことだろうと思います。</p>
金山座長 南雲委員	<p>はい、ありがとうございます。南雲委員、いかがですか。</p> <p>はい、私も同じ意見です。私の方からは(1)のところに新津鉄道資料館を、他に比類まれないとありますね。他に比類の無いと言うのはちょっと市民一般には分かり難いかな、しつこいかなと言う気がするんですよ。ここはちょっと削除しても良いんじゃないかな</p>
金山座長	<p>そうですね。かたくなりすぎて。それからですね、表題の所今後の運営方針になっていきますが今後のミッションと運営方針、ミッションと入れたほうが良いかもしれませんね。</p>
事務局：水澤 金山座長	<p>はい。</p> <p>そうしますとミッションの三本柱のミッションを確認していただいてそれを受けて運営方針というのを設定していただいた方が良いでしょう。</p>
事務局：水澤	<p>各ミッションを受けた運営方針について事務局、再度、説明お願いいたします。</p> <p>運営方針をもう一度かいつまんで説明させていただきます。</p> <p>先ず交流人口の拡大と地域の活性化を図るということでは、3点提案させていただいております。初めは、快適に過ごせる設備づくりということ施設・設備の改善を行っていきたいと思っております。2点目は、魅力あるアクセスの向上を図っていきたいと考えております。3点目は鉄道文化の情報発信ということで様々なツールを使って情報発信をして文化の発信・資料館の発信をしていきたいと思っております。</p> <p>ミッション2点目の鉄道文化の発信拠点ということに関しては4つ考えております。</p> <p>1つ目は鉄道の記憶をたどるということで新津あるいは新潟あるいは私鉄の昔ながらのその当時の記憶をたどっていくことでノスタルジーを感じていただけるのではないかと考えております。</p> <p>2つ目は魅力的なコンテンツ作りと展示ですが様々な指摘を受けております。資料は有るけれども説明が無い、もう少しグルーピングやゾーン設定を考えてみてワクワクするようなそれぞれの展示を行っていきたいと思っております。</p> <p>3つ目ですが、最新技術の紹介ということですが国鉄時代の資料の収集がほぼ止まっている状況です。改善して是非、新しい鉄道技術の紹介もやっていきたいと考えております。</p> <p>4つ目については、効果的なマネジメントをやっていきたいと考えております。</p>

	<p>こちらは、職員の問題、その予算の問題を伴って企画あるいは独自の事業を総合的にマネジメントしていきたいと考えております。</p> <p>ミッション3点目の人づくりと地域との連携による事業の展開ということで2つ考えております。1つ目ですが鉄道文化を学ぶ学校教育を支援するという事です。施設に来ていただけるのはもちろん、資料館から学校の方へ出張する事業も出来れば効果的ではないかと思っております。2つ目については地域振興で企業などとの連携強化を考えております。</p> <p>地元に着した資料館。おらが町の資料館。鉄道の町新津、新潟の鉄道文化を発信する資料館という意識の向上はもちろんですが、資料収集あるいは支えてくださる組織づくりなどを含めて連携を強化していきたいと考えております。</p> <p>以上です。</p>
<p>金山座長</p>	<p>はい、どうもありがとうございます。以上運営方針ということですが、いかがでしょうか？それぞれミッションに対応させる形で整理をされているわけですがそれでも。</p> <p>それに私どもから2-1-1の最初の2はいらないですね。</p>
<p>事務局:水澤</p>	<p>たしかに2はいりませんね</p>
<p>金山座長</p>	<p>いらないですよ</p>
<p>事務局:水澤</p>	<p>私もそう思います。失礼しました。</p>
<p>金山座長</p>	<p>(1), (2), (3)という様にしたらどうでしょうか？そうしたらキチッとした対応関係がわかります。</p>
<p>事務局:水澤</p>	<p>はい。分かりました。</p>
<p>南雲委員</p>	<p>心配なことなんですが、30年くらいの間、止まっている状態の展示品の中で最新技術の紹介を行うということで、今の最新資料を入れたとしたら間が抜けたりしないんですか？</p>
<p>事務局:水澤</p>	<p>JRの関係者と鉄道のOBの方に細かく話を聞き取りをした所、例えば国鉄からJRに動いたのは昭和でいうと62年3月だったと思うんですが。その位の時の資料も結構有るんですけど旧国鉄時代のそれからJRに動いたときから20年以上経っていますけれども基本的にあまり技術革新は行われていないそうです。置いてある資料は、結構国鉄時代の品物をJRもずーと使っていたもので、真ん中に技術革命があったたとえば今ある資料がいきなりこう目茶苦茶小さくなってという風なパソコンの様な世界ではないそうです。</p> <p>幾つか段階を経るにしても国鉄からJRに移行した展示でも十分展示の説明は、足りるんじゃないかとの説明は受けております。ですから、昭和62年の国鉄時代の資料と今のJRさんの最新技術の、例えば新幹線等々の技術を持ってきましてもその真ん中では余り大きな変革はないのだそうです。現在でも実際まだ使っているという品物は資料館の旧国鉄時代に使っていた資料の中にはあるようです。ですからあえて、中途を無理して入れる必要はないか。JRの関係者と鉄道OBの方からは資料収集をする際のコツとして言われております。</p>
<p>金山座長</p>	<p>いかがでしょうかね？最新と言うとリニアモーターカーですね。最新というのは何時頃の技術を最新と言うんですか。</p>

事務局:水澤	例えば電車を、実際にアルミの板から電車にするというのはそちらの車両工場でやっている訳ですが、その最新技術の紹介をしたりとか、あるいは確かにリニアモーターカーは最先端ですけれども、その一つ手前で恐縮なのですが新幹線の技術を紹介したりとかというイメージを持っておりました。リニアモーターカーは、ちょっと新潟に馴染みがないので考えておりませんでした。
金山座長	リニアは最先端ですよ
事務局:水澤	そういわれてみますとそうですね。
里見委員	最新の技術というトリニアモーターカー的なイベントを将来の乗り物としてどんなかたちをしているんだ。どんなエネルギーで動いている、そういう風なところまで展示はいくのかな。そこまでも決めておかないといけないかもしれませんね。最新が独り歩きをしているような気がします。そんな感じがいたしますね。
金山座長	事務局で検討して下さい
事務局:水澤	了解しました。
里見委員	地域・市民・企業等との連携強化にやはり全国にある同じ鉄道文化施設との連携もあって良いじゃないですか。
金山座長	今おっしゃった文化施設との連携は別に資料を用意していただきました。これをご説明していただけますか。
事務局:水澤	はい、別紙資料についての説明をさせていただきます。 鉄道資料館を考えて行くときに、国内にどういうふうな鉄道の展示施設があるだろうとリストを作ってみようと思って作ったのがこちらの資料になります。今時点で、分かりうる展示施設は60施設、これは新津の鉄道資料館を入れてです。 北海道から調べてみたら沖縄にも鉄道関係の資料館があるというのはちょっとビックリしたところです。 左の表からは施設名と開設年月日・設立の事業体・現在の運営の体制と都道府県名市町村名が入っております。入館料・コレクション数も入っておりますし、目玉展示こちらはセールスポイントとあわせて職員の勝手な目玉と思われる所まで記載しておりますので、その施設がこれですと紹介した訳ではございませんのでそういう目でご覧いただければと思っております。 述べ床面積、パブリック面積、入館者数、職員体制、年間決算額、セールスポイントと言うふうに入っておりますがコレクション数につきましては訂正を一点だけ、15番の鉄道博物館の2千点と皆様の所には記載されておりますが、こちらはあくまでも鉄道博物館に現在展示されているのが2千点でありましてコレクション数は50万点だそうです。大変すみませんでした。コレクション数についても集計している資料館もあればざっと置いていて幾つあるか分かりませんという資料館もございました。目玉展示につきましては、やはり実車が非常に多くやはり実物が有ると目玉になると感じております。延べ床面積に付いても畳十畳位から公共施設の一定スペースを間借りした様な施設から資料展示をしている所まで様々

	<p>でございます。入館者数も把握出来る所は把握してきましたが、分からない所は記載漏れになっていますのでまた2回目、3回目の検討委員会において分かり次第、報告させていただきます。</p>
金山座長	<p>これは凄いですね。鉄道関係の博物館・資料館は、こんなに沢山あるんですね。公立館についてはまだだいぶスペースが空いています。</p>
事務局:水澤	<p>はい</p>
金山座長	<p>公立館については、年館入場者数、人件費を含めたものを後で調べていただけますか。</p>
事務局:水澤	<p>分かりました</p>
金山座長	<p>会社関係だと色々と事情が有って返事が出来ない場合があると思いますが。ちょっとその辺をすすめて下さい。</p>
事務局:水澤	<p>分かりました。調べられるだけ調べます。</p>
金山座長	<p>ちょっと戻りますと里見委員がおっしゃった様に、この様な博物館・鉄道博物館も連携の一つに入れてはいかがかということですね。よろしいですかね。</p>
里見委員	<p>はい。</p>
金山座長	<p>ミッション(2)の4の所ですが、効果的なマネジメントとなっていますが効果が良いのか効率が良いのか?いかがですかね。効果的とはあまり言わないですよ。効率的なマネジメントとしたらいかがかなと思うんですよ。</p>
委員一同	<p>そのとおりです。</p>
金山座長	<p>はい、ではよろしいですか。案ということで案はまだ残しておきますが。とりあえず、これで進めていただければと思います。作業の方としては今後、この運営方針がそれぞれ上がっておりますがこれについて個々にどういう事業を実施していくのかということがそれぞれにぶら下ってくる訳ですよ。</p>
事務局:水澤	<p>はい。</p>
金山座長	<p>それではまた次回以降検討会で協議したいと思いますが、事務局の方からはいかがでしょうか。それに関連して何かございますか?</p>
事務局:水澤	<p>是非次回までに皆様方のアイデアを沢山寄せていただきたいと思っておりますので、これについてどうかというものがあればご遠慮なくご連絡いただいて電話でもメールでもやり取りして次回に備えていきたいと思っております。以上です。</p>
金山座長	<p>はい、それでは一応今日の予定していた議題については以上ということではよろしいですかね。</p>
南雲委員	<p>はい南雲委員 運営方針の3の所ですけども、戻ってすみません。人作りと地域の連携によるということですが教育、学校教育と市民との連携ということのなかに私は、やっぱり観光ガイドだからですけど、ガイド養成という喋れる人・ご案内できる人の人材育成みたいな教育だけではやはり駄目だと思うんですよ。インプットだけでなく、アウトプットも必要だと思います。アウトプットすることによって市民の人達だったり学校の子も達が本当の意味での人が</p>

	<p>作られてくるのかと思うので、何が良いのかわかりませんが私は、ガイドでガイドしか思い付かないですけども、観光ガイド的な要素を持つ人の人材育成みたいなのを入れていくとガイド次第で市外、県外の方達もへーとか、ほーという話を聞くと更に魅力がアップすると思っっています。</p> <p>市民との連携と教育と共に、話し伝えるという様な人の育成というものが必要かと思っっております。私が担当する観光バスは、ちょっと特殊で一般的な観光地にはあまり行っていません。誰も今まで行った事の無いような神社とか檀家さんしか行かないお寺に行っていますが、何も無くても私たちガイドがご案内する事でそこが凄く魅力的な所になります。町のただの鎮守様の様な所にも行きます。その場所も町史から引張ってきて、今は案内の看板も何も無いが実は昔これがあつたと話します。人が伝えることで誰も行かなかった所がよその観光バスが真似してツアーを組んだりする様な魅力的な神社になったりすることもあります。人づくりでは人が話し伝えるのが魅力かと思っっております。</p>
金山座長	<p>入れるとしたらミッションの3番目ですね。ミッションの3番目にひとつ加えてどうでしょうかね？ 文化施設のあり方検討会の中ではガイド事業みたいなものが案としてありましたか。</p>
事務局：水澤	<p>そうですね。ありました。</p>
金山座長	<p>それを方針のところに入れるのはどうですか？ 重点的な仕事としてはあり得るかと思っますがどうでしょう。</p>
里見委員	<p>昨年からの文化施設のあり方検討の中で、こちらから色々文化として訴えていくと同時に地域の方々からやはり盛り上げてもらいたいですね。他所の施設では鉄道資料館は駅から離れている故に、逆にいうと駅周辺いわゆる町の中から盛り上げていっていただきたいという話しは非常に出てきているところですよ。その中で盛り上げる要素として地域の中でサテライトを置くとか、その地域の人々がガイドみたいな形で鉄道なり鉄道文化の地域文化と新津の街を紹介しながら資料館の方にも誘導する形で資料館を紹介できれば良いですね。</p>
南雲委員	<p>会議前に里見委員に良い博物館とはどういう事ですかとお伺いしたら良いコミュニケーションがあることのようにです。先程も議事にありましたが国鉄時代の鉄道で働いていた方達が商店の中に地元で沢山いておいでですから、資料館に当時使っていたものを寄贈していただくというのも良いですし、返してと言ったら返してもらおうシステムにして自分の家でそれを自慢するのも良いと思っます。</p> <p>地域の人たちが率先して外部の人たちとコミュニケーションや話し伝えるのがあると良いと思っんです。私が冒頭に申し上げたとおり活かすも殺しも人次第と言うか、ご案内して下さる人が苦しうなところが本当に不安を感じています。これから一般の人のやはり上手なコミュニケーションがとれる人材の育成が大事ななと思っているところですよ。</p>
里見委員	<p>いま地域博物館で重要なこととして言葉は堅いですけども地域住民との共同研究が多く行われています。協同研究にたずさわって、ガイド養成とかインストラクター養成につながっていくと思っます。共同研究を行うことで新しい発見が見えてきます。本当に知らなかった</p>

<p>金山座長</p>	<p>事が多くあるんです。地域住民との活動はもう金山先生は色々やっらっしゃいますよね？</p> <p>そうですね。私が運営している NPO の野田市の博物館もガイドの会の人たちがそこを拠点として位置づいています。博物館だけでなくそこから市内を案内することをやっています。</p> <p>それは、非常に人気がありまして活性化しております。南雲委員の提案を運営方針の中にどう入れるかというのは事務局の方で協議して頂くというかたちで位置づけが出来ればと思っています。事務局よろしいでしょうか。他に事務局から協議はありませんか。</p>
<p>事務局：水澤</p> <p>金山座長</p>	<p>今日はいけません。</p> <p>今回はミッションを受けて運営方針を協議しましたが、今回はこれを受けた事業について内容を具体的に検討したいと思います。</p> <p>今日は長時間に及びましたが皆様ご苦勞様でした。以上で第 1 回目の会議を終了します。</p>